



2026年 チャレンジする年に

校長 大野 郁子



新年おめでとうございます。3学期の始業式に子どもたちに次のような話をしました。

2026年の干支は丙午です。「丙」には火の勢いが強いという意味があり、「馬」には前に進む力が強いということから、今年は、「新しいことに挑戦するのに適した年」と言われています。

来月に開催されるミラノ・コルティナ冬季五輪に出場する新潟県出身の選手の一人に、フィギュアスケートの中井亜美選手がいます。中井選手は、小さい頃に見た浅田真央選手に憧れてスケートを始めたそうです。今は17才の高校2年生。大技のトリプルアクセルを武器に世界の舞台に挑みます。

中井選手のように、皆さんには「憧れ」や「めあて」がありますか。「憧れ」は、夢や希望となります。また、「めあて」があるとやるべきことがはっきりとします。皆さんには、ぜひ「憧れ」や「めあて」をもってほしいと思います。

2026年、皆さんに意識してほしいことは、目と耳と心です。目と耳は、情報が入ってくることで、心はそれを受け止めることです。「目」で教科書や資料、お手本などをよく見るだけでなく、「目で聞く」ということも意識してください。視線を話す人のほうに向けて「目で聞く」と話す人の表情や動きといった言葉にない情報も受け取ることができ、話がよく分かります。

「耳」からは、常にいろいろな音が入ってきますが、「この話を聞こう」と意識を向けている音を選んで聞いています。意識を向けて聞くことは、理解するスピードや深さに関連しています。

「心」は、先入観をもたず、相手が何を言おうとしているのかを、まず素直な心で受け止めることが大切です。心を開くことで、学びや人とのつながりが広がり、豊かになります。

今年は、目と耳と心で「聴く」を意識して、新しいことにチャレンジしていきましょう。

変化していく多様性の社会だからこそ、柔軟な思考で学ぶ姿勢をもち続けたいと思います。

2026年もご理解とご協力をよろしくお願いします。



温かいご支援ありがとうございます

- ① 2学期始めに、分水ライオンズクラブ様から、6年生に図書カードのご寄付をいただきました。6年生では、「NEW 日本の歴史 全13巻」を購入させていただきました。
- ② 分水商店会様から今年度、図書室の充実にあててほしいと10万円のご寄付をいただきました。図書室用の椅子を3脚と本の購入に使わせていただきました。
- ③ 民生児童委員を5期15年務められた小川清治さんが、11月末で退任されました。小川さんは、15年に渡って子どもたちの登校の様子も見守ってくださっていました。また、折に触れ、地域に関わる多数の資料を学校にご寄付いただきました。